



平井知事(中央右)と共に健闘を誓い合う訪韓メンバーら=21日、境港市の米子鬼太郎空港

## 韓国に向け 県代表団出発

### ピースウォーキング

「日韓ピースウォーキング」の韓国・江原道コースに参加するため鳥取県代表団11人が21日、米子ソウル便で出発した。22日から24日まで、江原道・春川市から原州市にかけて約90キロを韓国の人たちと一緒に歩いてゴールする。

米子鬼太郎空港(境港市)で出発式があり、30代から70代までの訪韓メンバーが出席。大会長の岸田寛昭NPO

い、友情の懸け橋になる」とあいさつし、健闘を誓い合った。

ピースウォーキングは、一緒に歩く姿を見てもらうことで日韓両国民が仲良くなるとう両国のウォーキング団体が企画。2010年に韓国から鳥取県にゴールするコースで実施され、2回目の今回は逆コースでゴールを目指す。

既に9、10月に前半の鳥取市から境港市まで約120キロを一部区間、韓国からの参加者を交えて完歩済み。

この日の同じ便で、鳥取県と韓国・江原道の友好提携20周年を記念する平井知事ら県交流代表団44人も出発した。

県知事が「歩きながら

まちを知り、人と出会